

井の国歴史懇話会報

No. 21

発行：井の国歴史懇話会事務局

発行日：令和2年1月20日



謹賀新春



井の国懇話会 会長 武藤全裕

会員の皆様のご健勝あらんことご祈念申し上げます、本年もよろしくお願いいたします。

「私ごとですが八十七才を迎えました。通り過ぎた人生を振り返り『おかげさま』の言葉を頂きながら夫婦ともに歩いて参ります」と年賀状に添え書きをしました。

令和二年一月二十日で満八十七歳になります。この八十七年はこれまでの私の人生、私の歴史「自分史」でもあります。自分史執筆の夢、本年も新年に当たり描いておりますが……。

私は昭和八年岐阜市生まれ、本年の大河ドラマ「麒麟がくる」で登場する岐阜城の麓で育ちました。織田信長の居城岐阜城が聳える

金華山、その山登りは小学校時代夏休みの唯一の宿題であったことが懐かしく思い出されてきます。

天正十年六月一日本能寺の変。信長亡き後、徳川家康甲州入り、北条家と対陣。その和睦の使者を弱冠二十二歳の井伊直政が見事務めます。その功で四万石に加増され、武田軍最強といわれた飯富兵部（おぶひょうぶ）の「赤備え」隊を付属され土大将に任じられます。天正十年（一五八二）はやがて徳川軍団筆頭の地位に向け出世する輝かしい年ですが甲州出陣中の八月二十六日養母直虎が永眠しています。

本年度は小中学校向け「直虎・直政物語」発行を計画しています。直虎公に養育された直政公は、遠州第一の出世頭であり、浜松の誇りと言える人物であるからです。



研究報告

現地研修 「龍潭寺閑栖和尚と巡る旅」
～「臨濟寺と袋井市「可睡齋・油山寺」～

天高く馬肥ゆる秋

10月4日(金)秋晴れの下、バス1台25名で、恒例の現地研修に行って参りました。

研修目的地は、

- ①龍潭寺住職さんの修行寺 静岡臨濟寺
- ②東海道一の禅修行道場「可睡齋」
- ③遠州三山のひとつ「油山寺」

昼食は、東海道五十三次（歌川広重）の版面に登場する元祖丁子屋の「とろろ飯」でした。

この現地研修の醍醐味は、龍潭寺閑栖和尚さん龍潭寺住職さんの下で、多大な御利益が頂けることです。一般客では到底拝観出来ない非公開の仏様に御目文字叶う幸せは、表現し難いものです。

興味のある方は、一緒にいかがですか。

臨 濟 寺

臨濟宗妙心寺派の禅寺。山号は大龍山、現在も僧堂は修行僧の専門道場であり、戦国大名今川家の菩提寺。建造物・庭園内は春・秋年2日、特別公開以外は非公開です。

大変感慨深かったことは、

- 龍潭寺住職さんの修行寺であったということ。
 - 当日多大な「おもてなし」を頂戴し、大変感激したこと。
 - 御接待下さった修行僧の所作が洗練され美しかったこと。
 - 本堂は国の重要文化財、庭園は国の名勝に指定され、その殆どを臨濟寺和尚さんの案内で拝観させていただいたこと。
 - 家康が竹千代の頃、臨濟寺大書院で太原雪齋和尚に学んでいた勉強部屋を拝観したこと。
 - 山門の仁王像は、神仏分離により浅間神社より移設されたものとのこと。
- ☆隅々まで美しくゆき届いた臨濟寺さん。日本の歴史の重みの中に心が清められた瞬間でした。



臨濟寺 本堂



臨濟寺和尚さんと

記念撮影

昼 食

昼食は、東海道丸子宿名物とろろ汁の丁子屋でした。この店は、歌川広重（江戸時代の浮世絵師）が東海道五十三次「丸子名物茶屋」という題名で版画にし、今日まで続いている店です。

旅人の心を癒やした当時の味を思いつつ美味しく完食しました。



現在の丁子屋



とろろ汁

可 睡 齋

東海道の禅の大道場と唯一の火防守護、秋葉信仰の総本山として広く知られています。東海道一の禅の修行道場として可睡齋は悠久六百年の歴史を刻む、徳川家康が名づけた由緒ある古寺です。現在は、曹洞宗専門僧堂として多くの雲水(修行

僧)が修行をしています。

可睡齋井伊家ゆかりの史跡

- 徳川四天王の井伊直政の長男で、国宝彦根城を築城した井伊直勝と、直勝の長男井伊直好(掛川藩初代当主)の墓に詣でたこと。
- 墓石の大きさやその年数に対して、墓石が朽ちておらず石質の良さに驚かされたこと。



井伊直勝の墓



井伊直好の墓



墓石の大きさを確認する閑栖和尚さん

油 山 寺

遠州三山の一つ医王山薬王院油山寺(いおうざんやくおういんゆさんじ)、大宝元年(701)に行基菩薩によって開山された真言宗のお寺。全ての人の穏やかな暮らしと無病息災を祈り、行基菩薩は本尊の薬師如来を奉安されたとのこと。山全体が油山寺の霊域であり、樹木が茂り、谷川がせせらぎ、奈良時代の昔より変わらないそうです。

○山門は、元は掛川城の大手門。万治2年井伊直好公によって建てられ、明治6年廃城令の時、城主太田備中守が眼病平癒のお礼として油山寺に寄進し移築したとのこと。

○畳表の販売で財を成した気賀林が、三方原に建てた屋敷の門を油山寺に移築したとのこと。(気賀林については、よく調べまた報告します)



気賀林屋敷

より移築山門



掛川城より移築山門

★information

●講話 期日：令和2年2月19日(水)

会場：龍潭寺客殿 13:30～

演題：「竜宮小僧と井伊直虎」

講師：鈴木 一記 氏

●総会 期日：令和2年4月16日(木)

会場：龍潭寺客殿 13:30～

講師：未定 演題：未定